

アピール

私たちは本日、新型コロナウイルス感染症の感染拡大と日々懸命に闘っている医療・介護現場の最前線で働く仲間からの切実な声を聞きました。

すべての働く人が安心してくらし、働き続けられるようにするためには、医療・介護サービスの充実が欠かせません。しかし、以前から慢性的な人材不足にあった医療・介護現場に、コロナ禍の長期化が追い打ちをかけています。勤務時間の内外を問わず感染拡大のリスクに向き合い、心身の負担が重くのしかかる中、細心の注意を払いながら働くすべての皆さんに、心より感謝と敬意を表します。私たちの命とくらしを守る仕事に見合った処遇改善をはかり、それぞれの職場における人材確保を今こそ実現していかなければなりません。

医療現場では、長時間労働削減や勤務間インターバル制度の導入促進をはじめ、ワーク・ライフ・バランス施策の充実や働く者による「働き方改革」などを通じて離職防止をはかり、将来にわたり質の高い医療を確保できるようにすることが不可欠です。介護現場では、これまでも処遇改善が行われてきているものの、決して十分とは言えません。今後ますます介護サービス需要の急増が見込まれる中、継続的かつ確実な処遇改善措置を実施し、人材確保につなげていくことが不可欠です。

政府には、こうした医療・介護現場の働き方、賃金水準の引き上げなど山積する課題の解決に向けて、いっそうの取り組みを強く求めます。

同時に、仕事にやりがいや誇りを感じながら、長く働き続けられる医療・介護サービスの職場づくりが必要です。私たち労働組合は、それぞれの働く職場における健全な労使関係を構築し、組合員の輪を広げ、連帯をさらに強めていきます。そして、職場や地域の声を結集し、医療・介護の実態を広く国民に訴え、職場の改善や政策実現に向けて引き続き取り組んでまいります。本日のイベントを契機とし、改めて私たち全員が「安心と信頼の医療と介護」を実現する当事者となり、「働くことを軸とする安心社会」をめざして行動することを、ここに宣言します。

2022年5月21日

日本労働組合総連合会

医療・介護フェス 2022 ～安心と信頼の医療と介護 中央集会～